

【家族】

ご家族の日常生活(健康、お仕事など)に変化はありましたか(日常の介護等のために)。

1	特にない。週に2~3回のパートを気分転換のためにも続けている。
2	もの忘れ外来受診時の有給休暇。
3	在宅介護中は子どもが低年齢で手が係るにも関わらず、介護中心の生活パターンになり、無理の多い生活であった。
4	特にない。
5	認知症と診断されたH8年以後、精神的に休まる日はなく、イライラやストレスがたまり、自律神経失調症になったりしていた。H16年1月よりグループホームに入所、その後は気分的に楽な生活となったが、経済的に苦しくなり、介助者が仕事に出かけ、経費に当てなければならなくなった。年金生活者にとっては厳しい現実である。
6	パートの仕事を辞めた。うつにより内科で抗うつ剤をもらって飲んでいる。
7	腰痛が常にあるのと、睡眠不足が続くと血圧が高くなる。
9	家族は私(夫)、妻(本人)、子ども(男)と3人である。私は仕事、家事全般、子どもの学校用事、役所手続きと一人でやらなくてはならないため大変だった。寝不足になった。現在は定年になり、妻の介護に専念している。子どもは東京に行っている。
10	本人は独居。
12	すぐカア-ツとなるので顔を見ている。
13	H17年7月~半年担当したが、精神科入院後亡くなった。
14	夫も高齢のため介護が充分できない。娘も毎日面倒をみるができない。
15	娘が2人いるが、事情で別居生活で知らせていない。親としての責任を果たしていなかったことが理由。
16	現在は日常生活等は少しも心配することはないので、私も娘たちも現在の状態であれば、日常生活において今まで通りの生活をしている。
17	専業主婦なので変化はないが、精神的な疲れはある。
18	・デイサービスの送迎のため仕事を辞めた。 ・不眠・耳鳴りが続いている。
19	就労していたが、通常の勤務は難しくなった。短時間の仕事や管理職は退いた。専業主婦であったが、妻は主婦業ができなくなったため、家事全般も行なわなければならなくなった。
20	老老介護のため将来に対する不安あり。
21	私(夫)が介護しているが、食事準備・着替え・風呂・掃除等しなくてはならず忙しい毎日である。排泄・食事が辛いにも上手に本人ができるので、特に苦労は感じない。
22	日常の介護のため、家事は私がやっている。
23	単身のため家族はいない。 別に暮らしている親族が介護にあたっている。介護者はH17年12月で仕事を辞めた。自宅の家族にも不便をかけている。以前より腰を痛めている。
24	夫が定年退職しているので看ている。変化なし。子どもは平日は仕事している。
25	腰痛と、ストレスからくる胸が苦しいときがある。
26	特に変化なし。
27	ストレスを強く感じ、このままではだめになると思った。仕事にしていた教室を閉じた(本人徘徊強い頃のため)。子はいらだつことが多くなった。
28	介護者本人(夫)が心筋梗塞で緊急入院し、治療を受け、現在は身体障害者手帳4級になった。体力年齢も悪くなり、毎日の介護が大変しんどい状態である。
29	身の回りのことは普通にできるし、1日中接しているのは妻の私だがほとんど変化はない。
30	今のところ別になし。

【家族】

ご家族の日常生活(健康、お仕事など)に変化はありましたか(日常の介護等のために)。

31	夫は高血圧、脳梗塞、手術後左足しびれが恒常的続いている。娘は膠原病。
32	長時間の外出が難しい。
33	退職してから介護に専念しているが、家族全般についてはなれないこと故、また病状も少しずつ悪化してくるので心身ともにつかれるのでできるだけ気分転換するよう努力し、変化があれば受診している。
34	<p>・物を集めてくるので片付けるのに苦労する(石や竹、金属類、バッテリー、看板、捨ててあるもの)。</p> <p>・同じことを言ったり、家を出たり入ったりの繰り返し。あまりだめだよ、汚いよ、言うとな怒るので、本人に合わせて行動や話をする。演歌など曲を聞かせる。散歩が好きなので1日1回は外に出て歩かせる。入浴も先に私(妻)が入った後に入れる。寝るときはパジャマではなく、ジャージとセーターなどを着て2人とも寝る(いつ動いてもいいように)。トイレは気を付けてついて行く。洗面所でしたりするので、夜は気を付けないと危ない。</p> <p>・話もときどき通じない内容なので、近所の方には教えている(用事・用件を伝えられないから)。ハサミや包丁など危ないものはなおしていく。1人だけにはできない(足が丈夫で歩くので)。買い物はあまり人の多いところや時間を考えていくようにしている(連れて行く)。</p> <p>・現在介護のデイサービスを利用しているので、精神的に楽になった。まだこれから変わっていくので心配。</p>
37	本人の健康を考え、本人を中心とした日常生活を送っている。
38	配偶者早期定年退職後に発症したため、生活面では特に困ることはなかった。
39	<p>子どもが小さかったので、もともと仕事には行っていなかったが、徘徊するようになり、びっちり家の中で介護することになり、自由時間がとれなくなった。</p> <p>子どもたちは遊びにでかけにくくなったり、仕事に出られなくなったが、おばあちゃんの状態をよく理解し、文句も言わず、今までどおり母とも接してくれた。</p>
40	加齢のせいかもしれないが、腰痛がひどくなった。寝不足が続く。食事の時間も含めてくつろぐ時間がなかなかとれない(当人が落ち着かないから)。
41	妻の私が介護しているが、母も寝たきりで、仕事をしながら、デイサービスを受けながらがんばっている。しかし、生活面も心配だし、私も体が弱いので不安はいっぱいある。
42	<p>・仕事は退職。娘は私を気づかってくれ、会社への就職はせず、少し自由に行動できるアルバイトをしている。親としては、日勤の就職をしてほしい。休みのときは食事の用意を手伝ってくれるので大変助かっている。</p> <p>・イライラもするし疲れる。デイサービスやショートを利用し、大変助けていただいで感謝している。</p>
43	介護者(1人)が仕事を辞めた。家族に認知症の理解がないため、少しストレスに感じる。
44	配偶者の介護で年々腰から足の痛みが増えている。
45	デイサービスに行く前、帰ってからは常にそばにいないと不安があるので外出しにくくなった。
46	<p>本人が入院中のため介護はないが、本人が休職でこの先社会復帰もなく退職になり、退院のめどもなく、入院費、住宅ローン、子どもの学校の授業料等、私たち残された家族の生活を維持するために、今後この先は私が仕事の量を増やして生活していこうと2つ目の就職活動中である。</p> <p>私も子どもも胃腸が弱く、私はH17年の夏ごろから体重が減りだし、主人が入院するまでに10kg以上も体重が減った。ストレスで胃がただれたのが原因である。</p>
47	腰痛、頸部椎間板ヘルニアになった。
48	徘徊がひどく、金銭的に大変だが仕事になかなか行けず困っている。
50	まだ症状が軽度なので家族に支障はない。
52	今は入院して体は楽だが、眠れないことが多い。
54	誰も関わりがない。一人暮らし、娘も出産で関われない。両親の兄弟も高齢で関わりがない。両親は施設に入所中。

【家族】

ご家族の日常生活(健康、お仕事など)に変化はありましたか(日常の介護等のために)。

55	私(妻)は59歳の頃に心労から胃癌を患ったが、早期発見で命をつないだ。あまり体が丈夫ではないために、常にストレスのたまらないようにはしているが、利用できるサービスを受けながら頑張ることだと思っている。
57	変化は別になし。
58	日常行っていたことが1/3程度に減った。町内会の行事参加が皆無の状態になった。時間のゆとりがなくなった。
59	もともと肺気腫だった父が母の介護疲れから病状が少しずつ悪化。H15年に病気がわかり、H17年4月に亡くなった。
60	H17年度の自治会の役員にあたり、行事の都度ショートステイ等のサービスを受けたが、妻の病気は環境の変化によるものなのかわからないが急に悪くなり、反抗や言うことを聞き入れなくなり、介護に悩みつかれた。H17年10月より夜就寝しなくなり、午前1~3時に就寝することが多くなり、2月に入って辛抱できなくなり、ケアマネジャーに相談して妻を病院に入院させることにした。
61	夫はすでに56歳で発病していた。仕事にいける状態ではなく、介護が必要になり、仕事を持っていた私(妻)もやむを得ず退職をし、徐々にいくつもの症状が出てくるため、24時間体制で介護をしなければならず、不眠が続く状態だった。
62	発病後は今までの生活が一転して変わった。初めは対応の仕方がわからなかったので戸惑った。心が休まる時がなく、夜眠れなくなった。1人にして外に出られなくなった。
63	高血圧、心房細動、腰痛。家で仕事をしているが、落ち着いて仕事ができない。
64	・膝関節を痛め、手術するようになった。 ・妻の通院時も一緒に連れていくようになった。 ・妻の仕事のため、通所を利用しなくてはならず、経済的にも苦しくなった。
65	介護サービス事業所の協力(デイサービス、在宅ヘルパー等)により、自分は地域の役員をやったり、趣味の俳句をやったり、なんとか最小限の活動をしている。しかし、いずれはもう少し手を抜いて、介護の方に時間と労力を費やすときがくると思っている。
66	妻への暴力をふるうようになり、自殺を考えるとときもあった。入退院を繰り返し治療を進めながら、介護保険サービスを利用することで見守り体制も整い、精神的な安定が図れるようになった。
67	入社する回数を年を追って減らしている。
68	診察後介護保険を受け、週1回のデイサービスを今年で3年になる。娘2人も嫁いで今は夫婦2人だけの生活をしているが、去年よりやや進んできてこの先心配もあるが、2人して仲良く心静かに、豊かに笑って暮らしていきたいと思っている。
71	介護者の私は仕事は辞め、現在は徘徊をするので付いて歩くのが苦痛である。2年前に股関節の人口骨入替手術を受けているが、片方の肢もまた痛みだし、手術を受けなければならない状態である。
72	以前より高血圧の薬を服用していたが、また一段と高くなり薬を変更または増量してもらっている。他に腰痛があり、脳梗塞も少し小さいものがあるとのことである。
73	夫婦2人暮らしだったが、病名がわかった後、娘と同居のため引越しをした。私(妻)は日常が100%介護中心の生活なので、病気以後は自分のために使っていた時間(友人との付き合い、趣味の習い事等)はすべてやめてしまった。 自分のための時間を持つように、と家族にも言ってもらうが、気持ちが夫の不安感に負けてしまい、病人に寄り添うだけの日々になっている。
75	配偶者がしばらくつ状態になった。パートで仕事をしていたが、辞めざるを得なくなった。預金を切り崩して生活したり、子どもたちもこれから先があるので経済面であまり頼れない。
76	妻は日夜見守りが続くので精神的に疲れるし、同一行動が多くなるため、家事等手早く済ませることが必要となって、肉体的にも疲れる。
77	体力が以前よりなくなって風邪を引きやすく、胃の具合が悪く、食欲がない。以前はスポーツジムや

【家族】

ご家族の日常生活(健康、お仕事など)に変化はありましたか(日常の介護等のために)。

	韓国語講座に通っていた。健康のためスポーツジムは続けているが、以前のように行けず、行っている時間も少なくなった。韓国語講座はやめた。
78	毎日の病院通いと転院先探しには精神・身体とも大変だが、リハビリを見ていてわずかだが進歩したり、前日できなかったことが翌日できる姿を見ると嬉しくなり、明日も病院へ行く楽しみもある。
79	調子の悪い日に仕事を休んで世話をする。これからのことを考えると不安で眠れない日がある。
80	介護者(妻)は病気がちで孫の養育と本人の介護はとても体力的・精神的に苦痛であるが、まず自分のことを後回しにしているために、この頃では体調不良で明日のことをも心配する余地がない。幼い子どもを一生懸命育てている娘たちに介護を手伝って欲しいと言えない。
81	介護している者(夫)の心身の疲れがひどくなっている。
82	H15年5月退院後は在宅介護を続ける覚悟だったが、腰痛が悪化して介護が困難になり、H18年6月に入院させた。
87	精神的に疲れるときがある。仕事の疲れと妻の状態が悪いときが合致するときが一番疲れる。
88	病気になる前から子ども(長男)が腎不全で透析しており、精神的負担が増えた。
89	発病以来、自営業であるが、就業時間が一日6時間くらいになり、仕事に支障を来している。
90	一時耳鳴りがして、自分の声が耳の中で聞こえることがあった。介護しながら仕事に行くことは難しい。体も疲れる。一日ゆっくり寝かせて欲しいと思っても、変わってもらう人がいない。仕事を辞めようと思ったこともあった。
92	年を重ねるごとに目が離せなくなり、仕事といってもパートもしくは身内の手伝いぐらいしかできない。今は父が健康だが、2人の介護となれば仕事はもちろんのこと、ストレスの解消も難しくなると思う。
93	肉体的にも精神的も疲労は大きい。介護者の方が健康を維持できるようやっていきたい。
94	本人は平成10年頃より勤務地が遠方となり、初めは頑張っていたが、そのうち段々と「胃が痛む」と言って入院したり、またしばらくすると「腰が痛い」と言って入院したりと体の不調を訴えることが多くなり、日常生活では「朝起きない」「食事の用意がおろそかになる」「すぐ腹を立てる」等々だったが、他の人との会話は上手だったので、しばらくは更年期くらいに思っていた。退職してゆっくりと生活をするといくらに家族は見守っていたが、姑と2人で畑に草むしりをしていると急に大きな声で喚きだした。家でゆっくりしているとき、急に外へ飛び出して橋の上で泣き喚く等言いだせばきりが無いが、隣近所の方々が覗きに来るような状態となり、多くの医者や転々とした拳句、幻覚・妄想等で家族と主親戚とが振り回されて、やっと病院にお世話になったが、長くは置いていただけなく、各病院や施設を毎日訪ね歩いた。やっと別の病院でお世話になっている現在である。 やっと本人を落ち着かせたと思っている矢先、夫が脳血栓で入院、姑は風邪をこじらせて入院したのが、認知症となり、面倒を看られた主親戚(夫の妹)が交通事故で動きがとれなくなり、妹の夫は大動脈瘤の手術を受ける羽目になり、家庭は大混乱となってしまった今日である(夫は現在リハビリ中)。姑は夫の妹の夫が面倒をみながら週何日かのステイに行っている。 特別養護老人ホームに申込はしているが、順番がなかなか来ない。
95	変化なし
96	母と2人暮らしだった兄がこの病気になり、それが受け止められない母は心労が重なりうつ病となり、現在入院中。親族は妹である私だけで、いろいろな機関や人に助けられているが、やはり精神的に参ってしまった。今心のリハビリ中だが、入院している母や兄を見舞ったり、必要な物品を届けられるのは私しかいないので、月2~3回行っている。車に乗れないため夫の手助けが必要で、去年の夏夫も体調を崩してしまった。現在も薬を服用している。
97	酒小売業をしていたが、酒好きで酒を際限なく栓を抜くため、在庫をできるだけなくして注文分を仕入れて配達するようにし、私は昼間(デイサービスに行っている間)パートに行っている。
98	同居中は仕事の融通が利かず、十分なケアをしてやれなかった。体力的・精神的にはかなりハードだったと思う。

【家族】

ご家族の日常生活(健康、お仕事など)に変化はありましたか(日常の介護等のために)。

100	夫は介護ストレスから突発性難聴となる(2回、両耳)。現在も会話が困難。脳梗塞なり顔面・右上下肢麻痺に。その後麻痺は回復するも7年経過した現在も通院・服薬・再発防止に努めている。
101	会社での残業を控えるようになった。
102	火の不始末があり、隣接の姉の見守りで大事に至らない現状。外に出ている娘により病院に通院してもらう。日常生活の援助は隣接の姉で、姉の家庭に負担がかかっている。
103	夫婦で一緒にハウスで野菜作りをして働いたが、今夫はまったく介護だけになり、働けなくなった。長男の嫁は正社員で働きにいていたが、介護のため3年前に仕事は辞めた。
104	短期入所時以外は常に主人のために時間の制限を受けている。家のことはすべて私の肩にかかってきて、ストレスのせいで体調もよく崩した。
105	常に行動を共にする。精神的に疲れる。
109	家族ではないが、介助している職員に腰痛が症状として現れてきている。
110	介護者(夫)は平成14年10月に胃潰瘍のため病院へ1ヵ月間入院、本人(妻)はショートステイへ入所措置。
111	子ども(娘3人)はみな嫁いでいて現在主人と2人暮らしである。主人が収入ゼロになり、私が介護しながら朝から夜中まで働いている。それでも生活は大変である。今は健康だが、この先不安でいっぱいである。子どもたちが協力してくれているので、お金の余裕はないが心の余裕はある。
112	あまり変わらないが、病院にずっと看ていただいているので金銭的な面の不安やこのまま病院生活でよいのかどうか、本人が不便で仕方がない。
113	介護者はストレスから体の不調がいろいろな面に出たが、やっと最近は落ち着いてきた状態である。子どもは進路変更せざるを得なかった。今も精神的な不安を引きずっている。
114	家族全員が振り回され、グループホームへ入所するも、毎日呼び出され、最後にホームを変わった。入院したり、特養に入所するまでは落ち着く日のない2年間だった。
115	徘徊があるため、早退したり、休まなくてはならないことがある。